

大会宣言

安倍政権が強行する憲法破壊、独裁と戦争する国づくりは、多くの国民が反対運動に立ち上がり、戦後かつてない新しい市民運動がわきおこるなど、大きな変化が生まれました。

先に行なわれた参議院選挙では、国民の声に押され野党共闘が実現し、野党統一候補の当選が沖縄、福島はじめ11名となりました。また、一致する要求での協力・共同の関係にある日本共産党が改選3議席から6議席へと議席を倍増させました。これは、戦争と独裁政治の道を暴走する安倍政権への痛烈な審判ともいえます。いっぽう自民・公明などの改憲勢力が参議院定数の3分の2にあたる162議席となり、戦争法発動と明文改憲の危機がせまっています。

NTTは、2015年5月に発表した「新たなステージをめざして2.0」によって、経営の軸足を海外に移し利益至上主義の多国籍企業となって、国内ではNTTの公共的責務に関わるユニバーサルサービスの見直しを表明し、更なる労働者収奪と国民利用者サービスの切り捨てを進めています。NTT持株会社は、海外進出の資金づくりのためNTTグループ各社に一層の業務の効率化・高収益化を求めています。また、政府株を中心とした自己株取得と消却を繰り返し、株主配当を毎年増配する株主最優先経営を推し進めています。NTT東・西日本は、業務体制の見直し・効率化に拍車をかけてコスト削減を推し進めています。NTT西日本では、「光コラボにより業務量の減少」を口実に、これまで事業の中心を担ってきた有期雇用労働者に「雇止め」強行しました。さらに労働契約法18条を潜脱する姑息なやりかたで無期雇用化の回避を行おうとしています。

JMITU 通信産業本部は、9月3～4日、大阪市内で第1回定期全国大会を開催し、1年間のたたかひの成果と教訓を確認し合い、「変化から前進へ組織建設の飛躍で要求の本格的前進を」を合言葉に、職場労働者との対話を重視し、組織強化・拡大に向けて全組合員の英知と総力を結集して強固な組織建設をめざす運動方針を決定しました。

雇用、くらし、平和・民主主義にとって歴史的岐路に立っている今、絶対に安倍政権による憲法改悪の発議を阻止し、戦争法の廃止、くらしと雇用、平和をまもるたたかひ、安倍政権を退陣に追い込むたたかひと、NTTグループ労働者の苦しみの根源となっている株主優先経営によるコスト削減、委託費・下請け単価切り下げなどの労働者収奪とのたたかひを強めます。

私たちは、すべてのNTTグループ労働者と力を合わせて、NTTリストラと安倍政権の攻撃を跳ね返すために、本日決定した運動方針に固く団結して全力で奮闘することをここに宣言します。

2016年9月4日

JMITU 通信産業本部第1回定期全国大会